

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 延岡市教育委員会
2. 研究主題 : 魅力ある学校統合事例の創出
3. 研究タイトル : 小中一貫校ならではの取組を生かした「地域とともにある学校づくり」の推進に関する調査研究
4. 研究課題 : 統合後の学校が新たな学区の地域コミュニティの核として高い教育機能を発揮するための方策に関する研究
その他、統合を契機とした魅力的な学校づくりに関する先進的な取組

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

平成26年4月に小学校4校、中学校1校を統合再編して開校した施設一体型小中一貫校である延岡市立北方学園を調査研究の柱とする。北方学園は、約200km²の広い校区を有し、閉校した学校のうち3校がへき地校であり、その地域の活力が失われてきている。そこで、閉校した学校の校区を含めた北方町全体との結び付きをさらに強化し、小中一貫校ならではの強みを生かした「地域とともにある学校づくり」「ふるさと学習を基軸としたキャリア教育」に取り組み、本市のみならず他県の自治体も参考となるような実践を行うとともに、地域の活性化に寄与する。

(2) 調査研究の実施状況（平成30年度）

4月	
5月	
6月	30年度の計画確認、芋の植え付け（小学1・2年）、北方町探検（小学2年）、お茶畑見学とお茶摘み体験・桃畑見学（小学3年）、八峽田んぼでの田植え（小学5年）、北方の名所開発計画・観光協会による学習（小学6年）、北方地場産業体験学習（中学1年）、北方トップセールス（中学2年）、平和学習（中学1～3年）、上級学校訪問学習（中学3年）
7月	三権地区川遊び体験（小学1年）、環境学習（小学2年）、北方町探検（小学1・2年）、伝承遊び学習（小学4年）、美々地地区体験（小学6年）、よのなか教室（中学2年）、ロケット制作（中学3年）
8月	旧小学校区ごとに防災学習の実施
9月	第1回調査研究推進会議 ものづくり体験（小学4年）、鑑賞教室ワークショップ（小学6年）、修学旅行（小学6年）、職場体験学習（中学2年）、県民総ぐるみ教育推進研修会（中学1・2年）
10月	第2回調査研究推進会議（学校運営協議会） 鑑賞教室（小学1～中学3年）、八峽の田んぼでの稲刈り（小学5年）、清流祭（小学1～中学3年）、竹明かり制作（中学1年）、落語講演会（小学5年～中学3年）
11月	芋の収穫と料理体験（小学1・2年）、上崎地区みかん狩り（小学2年、中学2年）、にんじん収穫と玉ねぎ植え体験（小学3年）、宿泊学習（小学5年）、ものづくり（小学5年）、干支の町フェスティバルへの参画（中学生）、租税教室（中学3年）
12月	持久走・駅伝大会（小学1年～中学3年）、バスの乗り方教室（小学3年）、農園見学（小学6年）、ロケット打ち上げ（中学3年）、ありがとう集会（小学1年～中学3年）
1月	第3回調査研究推進会議、保育園との交流（小学1年）
2月	農作物販売体験・地域特産物を使った料理教室（小学4年）、北方サミット・外部講師による講演（中学生）
3月	体験学習のまとめ（各学年）

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

調査研究推進会議を設け、保護者や地域住民と目標やビジョンを共有し、連携・協働しながら子どもたちの豊かな成長を支えていく熟議を行い、「地域とともにある学校づくり」の取組を推進することができた。

北方町全域の地域素材・地域人材の発掘に努め、土曜授業等を活用しながら児童生徒が地域で学ぶ機会や、地域課題の解決に向けて児童生徒が貢献するなどの機会を9年間を見通して、系統性を持たせて計画することができた。

「ふるさと学習を基軸としたキャリア教育」を行い、児童生徒の豊かな学びを保障するとともに、学校と北方町全域との結び付きを強化する組織づくりに着手できた。

小中一貫校の強みを生かして、9年間を見通した学習指導に取り組むとともに、学校支援地域本部との連携を密にすることができた。

(2) 成果物等

- ・学校紹介リーフレット
- ・北方の活性化を目的としたのぼり旗

(3) 今後の取組予定

- ① コミュニティ・スクールに向けた研究の推進
- ② 学力向上を目指した取組
- ③ ふるさと学習を基軸としたキャリア教育の充実
 - ・ 前年度の体験を生かしてさらに発展した内容の体験を行う。
- ④ 地域社会への双方向性のある発信を積極的に行う。